

「えるぼし」認定取得後も女性活躍を推進

当金庫は、女性活躍推進法に基づき、女性の活躍推進に関する取り組みの実施状況等が優良な企業として、厚生労働大臣から「えるぼし」（認定段階2）の認定を受けています。

また、平成27年9月に大阪市から「女性活躍リーディングカンパニー」に認証後、30年9月には認証が継続され、「意欲ある女性が活躍し続けられる組織づくり」として最高位認証である「二つ星認証企業」にランクアップしました。さらに、令和2年2月には「女性活躍リーディングカンパニー」市長表彰の「特別賞」を受賞しました。

その後も、男女共同参画に向けて取り組み、男性も女性もいきいきと働くことのできる元気な企業等として大阪府の登録制度である「男女いきいき・元気宣言」事業者に登録されました。さらに次のステップとして、令和3年10月、女性活躍推進法に基づき策定した行動計画の取り組み内容が認められ「男女いきいきプラス」事業者として認証されました。



女性活躍推進法に基づく認定マーク「えるぼし」
平成28年6月13日認定



「男女いきいきプラス」認証
令和3年10月1日認定

「女性活躍推進法」に基づき策定した行動計画と実績

計画期間 ▶ 令和3年4月1日～令和8年3月31日

計画	課長代理に占める女性職員の割合 40%以上	女性職員を対象としたキャリアアップ研修を 毎年5回以上 実施する。	年次有給休暇の取得率を 令和元年度実績より 5ポイント以上 向上
実績	課長代理に占める女性職員の割合 33%	マネーアドバイザー研修、トラストアドバイザー研修、 女性健康セミナー、育児休業者交流会などを 年間5回以上 実施	年次有給休暇の取得率を 令和元年度実績より 8ポイント 向上

「くるみん」(子育てサポート企業) 認定取得

次世代育成支援対策推進法に基づき策定した一般事業主行動計画が「子育てサポート企業」として一定の基準に適合するものとして、令和3年2月、厚生労働大臣から「くるみん」認定を受けました。



令和3年2月15日認定

仕事と子育てを両立させることができ、すべての職員がその能力を十分に発揮できるような雇用環境の整備を行うため、右記の行動計画を策定しています。

次世代育成支援対策推進法に基づく一般事業主行動計画

計画	働きやすい職場環境を醸成するため、ハラスメント等の教育を実施する。	男性職員の育児休業取得率を向上させる。	育児休業復帰者に対してキャリアアップ支援を行う。
実績	eラーニングによる啓蒙のほか、会議等において啓蒙	計画期間に比べ10ポイント向上	育児休業期間中のキャリア継続勉強会を実施

「子育て・健康および介護などの相談窓口」を開設

企業の顧問助産師業務を行う(株)With Midwife、健康サポート企業の(株)F・Link(フ・リンク)と業務委託契約を締結し、育児、健康や介護などの相談窓口(職場の保健室)を開設、広く専門家のアドバイスを受けることができる体制づくりを進めました。

相談内容

- 相談内容 | 健康、育児、不妊治療、ジェンダー、メンタル不調、介護など
- 相談方法 | 電子メール、テレビ電話、オンライン面談

▶ 地域のために汗を流し、地域とともに協働する自律人材の育成

当金庫では、地域のお客さまに高度な金融サービスを提供するとともに、多岐にわたるお困りごとと一緒に発見・解決する課題解決型金融に取り組んでいます。

そのためには、人材の成長こそがお客さまへの持続的な付加価値提供の基盤になると考えています。公募・プロジェクト方式による「大阪・関西万博プロジェクトチーム」や「諮問委員会」「顧客満足度向上委員会」「高齢者サービスプランニング委員会」「商店街活性化事業検討委員会」を立ち上げ、学びと実践を継続しています。これらのプロジェクトを通じて、地域の一員として密接にかかわり、地域とともに協働できる自律人材の育成と実践に積極的に取り組んでいます。

また、営業店と同様の設備と環境を備えた「横堤研修センター」では顧客対応業務の研修を、「オンライン研修室」では端末機器やタブレット端末の研修を実施しています。さらに利便性を高めるためのITリテラシー向上にも努めるなど、地域のお客さまへのより安心で快適な付加価値の高いサービスの提供に向けて実践的に学べる環境を整えています。



オンライン研修室での研修の様子

代表的な資格・試験合格者数(のべ人数)

中小企業 診断士	社会保険 労務士	CFP、 1・2級FP技能士	宅地建物 取引士	IT パスポート
19名	4名	577名	122名	219名

▶ お客さまの事業を理解し、伴走支援できる「プロ」人材の育成

お客さまの課題解決力の向上を目的に、事業承継をはじめ、M&A、創業支援、投資、事業再生、DX、相続・信託などの外部支援機関や取引先に職員を派遣しています。多様なご要望にお応えできる専門的なノウハウやスキルを有したシニア・トラストアドバイザー(シニアTA)やデジタル化支援の専門チームなど、「プロ」人材の育成を図っています。

令和5年1月～3月に開催された(一社)金融データ活用推進協会(FDUA)主催の「第1回金融データ活用チャレンジコンペ」では、24名の職員がプログラムを最終投稿し、うち1名が「FDUA賞・金融業界(地域金融機関部門)」で入賞しました。

また、企業の経営課題などを題材に「課題解決型融資プロジェクトチーム」を組織横断的に組成し、実践的なコンサルティング能力の向上を図っています。

eラーニング講座も導入し、育児休業者も含めた全職員が自宅で自由に学習できる態勢を構築することで、職員のスキルアップ・キャリア継続のためのリカレント・リスキリングをサポートしています。

これらで学んだ知見は、座学やゼミ形式での研修等によるフィードバックを通じて幅広く職員に還元・共有し、蓄積することによって、お客さまの事業を理解し、伴走支援できる人材の育成に積極的に取り組んでいます。



FDUA賞を受賞した当金庫職員(中央)

▶ 安心して暮らしやすい地域社会づくりに貢献できる人材の育成

当金庫では、ご高齢の方をはじめ、障がいをお持ちのお客さまにも安心・安全で円滑な取引を快適に行っていただけるよう、視覚障がい者対応ATM、点字ブロックの設置や、音声による来店案内システムの導入などを進めています。

また、視覚障がい者の方に関する正しい知識を身に付け、その対応やサポートの方法などを習得するために、平成27年から「視覚障がい者対応研修」を実施しています。ほかにも、平成23年から「認知症サポーター養成講座」を実施し、同資格の保有者は639名となっています。

今後とも、地域の皆さまが安心して暮らせる地域社会づくりのために行動し、貢献できる人材の育成に努めてまいります。



「視覚障がい者対応研修」を開催